

学部長からのメッセージ

2023年に新設される国際文化学部は、世界の多様な文化や言語を学ぶにあたって、「脱教室・脱キャンパス型」の実践的なプログラムで実際に体験し、さらにそれを複数の言語やICTを用いて発信していくところに、学びの新しさとユニークさがあります。

こうして「実践力」や「発信力」を身につけることで、国境やジェンダー格差といった「境界」だけではなく、私たち自身の心の中にある「境界」(=「当たり前」だと思いつい込み)を越えていく「越境力」を育んでいきます。

文化というのはとても重要で、実は文化を理解せずに社会の動きを理解することはできません。グローバル化が進む一方、異なる文化の間で問題も生じている不確かな時代を、「越境力」で乗り切っていきませんか。



国際文化学部 学部長予定者
河本 真理



Addison Neil Matthew 教授
専門:19世紀英国文学と最近のイギリス文化

My research focuses on nineteenth and twentieth century British literature and culture. I am interested in researching the influence of artistic and scientific culture on British literature and poetry.



木村 寛 教授
専門:美学

西洋近代の美学とダンス研究が私の主たる研究分野ですが、古今の演劇、美術、音楽、アニメーション、(お)笑いなど幅広い興味をもって「芸術・芸能にかかわるときの人間のからだのあり方」についてずっと考えています。

2023年度入学者選抜の概要

入試相談会in学園祭、Webオープンキャンパスについては大学HP「オープンキャンパス」をご覧ください!



一般選抜

大学入学共通テスト利用型(前期・後期)

出願期間 前期:2023年1月4日(水)~1月16日(月)
後期:2023年2月10日(金)~2月24日(金)

試験日 2023年1月14日(土)~1月15日(日)

・外国語が得意な方に有利な配点
※本学での個別学力試験は実施せず、
大学入学共通テストの成績のみで合否を判定する

●選抜方法:3教科、計600点で合否を判定する

●教科・科目と配点

①外国語:300点

英語:リーディング100点を200点に換算し、リスニング100点とあわせて300点とする
その他の外国語(独・仏・中・韓):筆記200点を300点に換算する

②国語:200点

③地理歴史・公民・数学より1科目選択:100点

●募集人員:(前期)5名(後期)3名

一般選抜

個別選抜型

出願期間 2023年1月4日(水)~1月16日(月)

試験日 2023年2月2日(木)

・最も募集人員が多い選抜型
・英語が得意な方に有利な配点

●選抜方法:本学独自の学力試験を課し、合計得点で合否を判定する

●教科・科目と配点

①外国語(英語):傾斜配点を行い、100点を120点満点とする

②国語:100点

③地理歴史(日本史または世界史)・数学より1科目選択:100点

●募集人員:40名

一般選抜

英語外部試験利用型

出願期間 2023年1月4日(水)~1月16日(月)

試験日 2023年2月2日(木)

・英語外部試験のスコアをお持ちの方向け

●選抜方法:英語外部試験の基準スコアを満たすことにより個別選抜型の試験科目のうち、外国語(英語)以外の科目で受験ができる。

また、一定の基準以上のスコアを有していれば加算して合否を判定する

●募集人員:10名

日本女子大学 公式SNS



Instagram

目白キャンパスの
日々の風景、学生の
活動、本学の歴史など
を紹介しています。



Twitter

「日本女子大学の
今」を発信してい
ます。



LINE

入試やイベントの
情報をお届けし
ます。



国際文化学部 2023年4月START

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 Tel.03-5981-3786(入学課)

学部HP https://www.jwu.ac.jp/univ/academics/transcultural_studies/index.html

国際文化学部の
詳しい情報は
大学HPから



※デバイスの種類により読み取れない場合があります



世界を、時代を、
自分を超える。

国際文化学部
2023年4月START

国際文化学部
国際文化学科

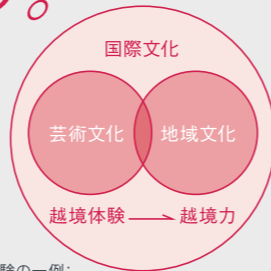
世界を、時代を、自分を超越る。

グローバル化が急速に進み、インターネットやSNSによって世界中の人とつながることができるようになった現代。

その一方、私たちは既成の考え方や枠組み=「境界」に知らず知らずのうちにとらわれてしまいがちです。こうした境界は、世界の中に網の目のように張り巡らされているだけではなく、私たち自身の心の中にもあるのです。

今いるところとは違うところに身を置き、多様な文化や言語を実際に体験して学んだうえで、その「違うところ」で得た学びを発信する。こうして自分の殻を破っていく「越境力」こそが、これからは必要です。

人間や社会のまさに基盤をなす文化。日本女子大学国際文化学部は、国・言語・時代・ジェンダー格差といったさまざまな境界を越え、新たな文化を創造していくあなたのための学部です。

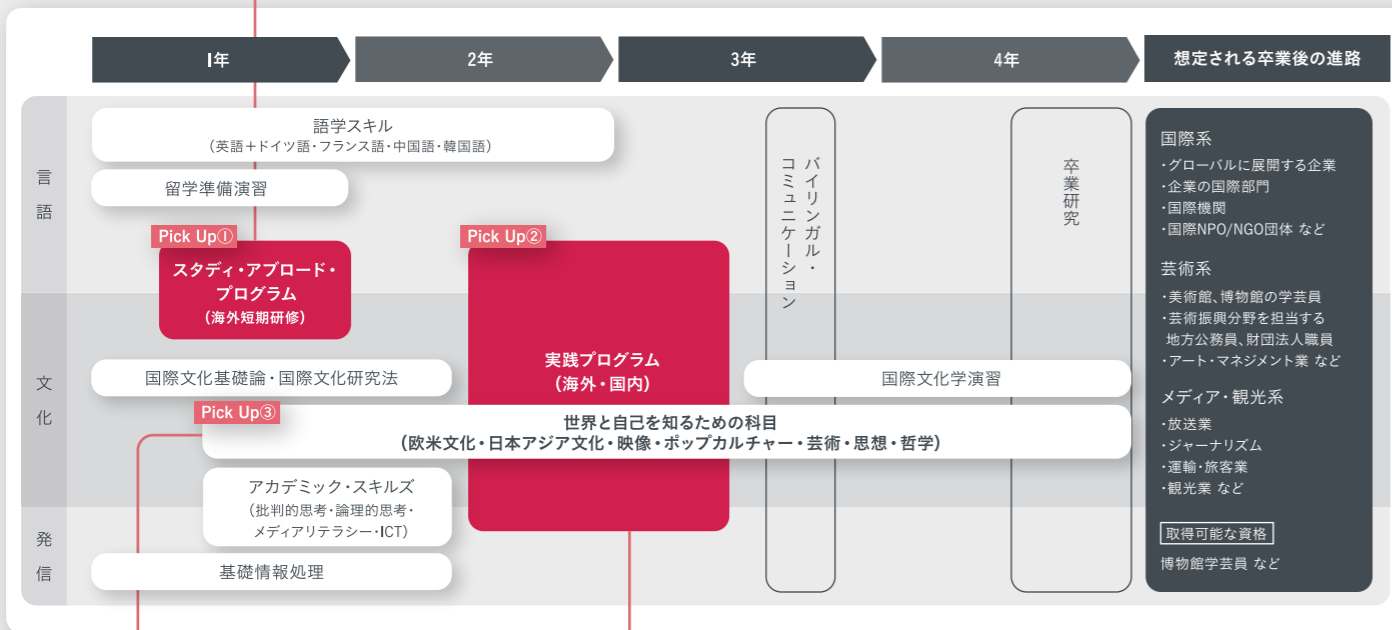


※越境体験の一例：
 <海外>協定大学留学・認定大学留学・大学付属機関への留学
 <国内>日本各地での実践体験など
 ※「越境力」とは：自分の「当たり前」を認知・解体・分析し、さまざまな境界を越えて現実に触れながら既成概念を打ち破る力

Curriculum

「国際力」「実践力」「発信力」を身につけ、「越境力」を育む

Pick Up①・②は特に国際文化学部の特徴的なカリキュラムのため、次ページでぜひご覧ください。



Pick Up③ 世界と自己を知るための科目 1年次後期～4年次

多様な地域・領域の文化を理解するためのバラエティ豊かな専門科目です。欧米、日本、アジアの文化や思想に関する知識を深める科目、美術・文学・音楽・ダンス・映画・ポップカルチャー等を領域横断的に学ぶ科目が揃っています。

4つの科目群	A) 欧米文化科目群	B) 日本・アジアの文化・思想科目群	C) 映像・ポップカルチャーと哲学科目群	D) 芸術文化科目群
	・原典講読：イギリスのフェミニズム ・アメリカ文化論 ・フランス文化論 など	・日本観光文化論 ・日本の芸能思想 ・現代アジア文化論 など	・身体メディア論 ・映像表現論 ・K-カルチャー論 など	・西洋近現代美術史 ・日本中世絵画史特論 ・音楽と社会 など

教員陣は多様な分野を網羅

西洋美術史、日本美術史、美学、映像論、音楽、ファッション、文化人類学、倫理学、イギリス文化、アメリカ文化、ドイツ文化、フランス文化、中国文化、韓国文化など、多様な専門分野を研究する教員陣から学ぶことができます。

詳細はこちら



Pick Up

「脱教室・脱キャンパス型」の新しい学びを象徴する2つのプログラム

Pick Up① 1年次必修 スタディ・アブロード・プログラム

詳細はこちら



1年次の夏から海外で、異なる文化・地域・言語を直接体験

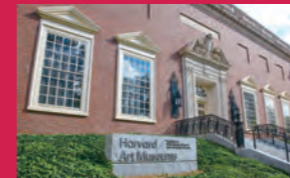
国際文化学部では、1年次に2週間程度のスタディ・アブロード・プログラム (海外短期研修) を必修としています。早い時期に異なる文化・地域・言語を直接体験することにより、個々の専門分野への関心や問題意識を深めるとともに、理解・共感に必要な外国語のレベルを実地で経験し、さらなる学びへの導入とすることを目指しています。

選択できる研修先

複数の研修先の中から個々の関心・専門領域に合わせて1か所 (全7候補のうち) を選択し、事前学修を経たのち、現地の学生との交流やスポーツ、芸術鑑賞、社交などのさまざまな体験をします。



オックスフォード (イギリス)



ボストン (アメリカ)



南仏・ナント (フランス)



フエ・ハノイ (ベトナム)

※研修先は上記4候補に加え、シドニー (オーストラリア)、台湾、韓国があります (研修先はいずれも2022年3月時点での予定であり、今後変更になる可能性があります)

Pick Up② 2～3年次必修 実践プログラム (海外・国内)



海外プログラムはこちら



国内プログラムはこちら

知識と体験を行き来して「越境」し、自分なりの問いを発見
多様な言語やメディアスキルを用いて発信する力を身につける

教室の外に問題や課題を見出し、解決する力を身につけることを目的とする脱キャンパス型の実習科目です。事前の学修と綿密な準備を行ったうえで、海外・国内のさまざまな現場・地域へおもむき、現地の文化や社会を体験的に理解するとともに、現地・地域の人々と思索し、解決を模索します。そして、そこでの課題の発見・理解・解決の過程や結論を、ひとつの表現・成果物へとまとめあげていきます。想定される受け手を意識し、表現内容を工夫しながら作成されるその成果物を、ICTを活用して、社会に向けて発信していきます。

実践プログラム 3つのステップ



選択できる3つのプログラム 3つのプログラムのうち、いずれか1つを選択します。

海外 a	<p>プログラム概要 希望者全員が履修することができる海外の留学プログラム (原則、語学力を問いません) ※半期の語学研修と現地調査が含まれます</p> <p>留学先 アメリカ都市文化研究 (コロンビア大学、ペンシルヴァニア大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校の各大学付属の語学学校)、ナイアガラ国境地域文化研究 (ナイアガラ大学)、フランス文化研究 (西カトリック大学付属語学学校)、中国文化研究 (河南師範大学)</p>	
海外 b	<p>プログラム概要 語学力等の学内選考を経て、協定大学または認定大学へ留学するプログラム ※大学から一人あたり20万円～最大400万円の給付奨学金が授与される、経済面での手厚いサポート制度があります (支給額は変動する場合があります)</p> <p>協定大学一覧 (アメリカ) ウェルズリー大学、マウントホリヨーク大学、オレゴン大学 (イギリス) ノッティンガム大学、ウォリック大学、ブリストル大学、ヨーク大学、ランカスター大学 (カナダ) マギル大学 (フランス) ボルドー・モンテニユ大学 (スウェーデン) ウプサラ大学教育学部 (韓国) 梨花女子大学 (中国) 河南師範大学 (台湾) 静宜大学 (ベトナム) フエ大学外国語大学</p>	
国内	<p>プログラム概要 国内の施設等を利用して実施するプログラム</p> <p>実習例 国際芸術祭、展覧会、美術館、寺社、文化遺産等の見学実習、ダンスなど身体を用いたパフォーマンスについてのワークショップ、地域文化と観光 (本学が連携協定を結んでいる北海道日高管内7町) など</p>	